

人が育ち、安心して生活するために

幼稚園・保育園・子育て支援

- ♪ 高齢者福祉には積極的ですが、子育て・学校教育に対して今ひとつの嵐山町です。
- ♪ 若い両親が何を求めているか意見を聞く場所・提案する場がありません。
- ♪ 熟年者の考えの押し付けではない新しいタイプの子育て支援が必要です。

視察してきました。

- ♪ 三鷹市・ベネッセに公立保育園事業を委託
公立幼稚園を改築して、保育園に改修・ベネッセに委託しています。
- ♪ 越谷市・駅前のファミリーサポート事業・保育園通園児を駅前のミニ施設に預け、そこから保育園にいきます。お迎えも駅前です。ミニ施設は児童館として、若いおかあさんの学習支援や、保育相談・一時預かりをしていました。
- ♪ 千代田区・いずみ園・幼稚園と保育園が一体化しています。
幼稚園の時間帯の子どもと、早朝・延長保育の子どもが同じ場で、幼稚園の時間帯と一緒にすごしていました。

◆嵐山幼稚園を幼稚園と保育園の共同利用の形に変更できないか提案しています。

嵐山幼稚園園児の定数を増加し、早朝・預かり保育・延長保育の必要な子どもには、幼稚園とは別料金体系で進めていくことで、保育園入園の待機が解消できます。
町立幼稚園に子ども支援センター的な機能を持たせることも効果的です。

◆◆赤ちゃんとお母さんの友だちづくりのために集会所や公園での巡回保育を。

- ♪ 住宅の身近に子どもの遊べる公園・公園テビューできる公園がすくないのです。
- ♪ 嵐山町に引っ越してきて、知人や友人の少ないおかあさん・おとうさんは、子育ては不安。
- ♪ 狭山市や中野区では、公園や集会所を移動する公的な巡回保育サービスがあります。
- ♪ ちょっとした情報交換や、ちょっとしたサービスで、子育てが楽しくなります。



学校教育

子どもの数が減っているのに、学校に配置される先生が少なく、先生も子どもも苦勞しています。嵐山町は、財政が厳しく独自に教員を増員して、少人数クラスにすることはむずかしいのです。勉強がまったくわからなくなってしまうと、子どもの学校生活は楽しくありません。

- ♥ 県の教員の嵐山町への配分を多く求めて、先生を少しでも多く配置してもらうように議会で県に意見書を提出し、教員確保を働きかけています。
- ♣ 地域の人による学習支援ボランティア・部活動の指導を提案しています。
- ♣ 学校の図書室が充実していないので、地域のボランティアの図書先生を提案していました。
- ◆ 子どもも大人も触れ合うことができる生涯学習・子どものボランティアの場を積極的につくっていくことを提案しています。
家庭科学習で、保育園に中学生が実習に行くのはとても有意義です。
ボランティアの皆さんの協力のもと学社融合の宿泊合宿は、新しい方向だと思います。



学校給食



給食は、1日3食のうち大事な1食です。安全で・おいしく・楽しく。

嵐山町は共同調理場が2つあります。それを1ヶ所にする給食センターには反対しています。現在の給食調理場でも、改修することでアルミ食器から、磁器などの食器に変更できるはず。視察してきました。

- ♥坂戸市 市の方針ですべての学校に給食調理場があります。おいしい。
学校の子どもの数だけの調理数でよいから、量的に地元の野菜を利用しやすいようです。
- ♥♥所沢市 調理数が多い給食センターによる学校給食から、全小中学校に給食調理場を建設する計画がスタートしています。予算化が難しいようですが、学校給食の原点に戻る動きです。

通学路の安全

- ♣ 嵐山町は比企地域のなかでも、もっとも交通事故が多いところで通学路が長い地域もあり、暗くなると交通事故・痴漢・犯罪に巻き込まれる心配があります。
- ♣♣ 朝の交通指導員の配置は、PTAの方の努力で、実現できました。
私は独自に坂戸市・東松山市・滑川町などのシステムを調査し、提案してきました。
- ♣♣♣ 通学路での発生・未発生事件を学校と行政が把握し、地域で防止できる工夫が必要です。